

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 11 号 (通巻 No.104)

2001 年 7 月 31 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

太平洋イカ長期漁況予報発表される

7月26日に平成13年度第1回太平洋イカ長期漁海況予報会議が開催され、以下の予報文が水産庁より発表されました。

対象魚種：スルメイカ

予測期間：2001年8～9月

予測海域：常磐以北太平洋海域

対象漁業：イカ釣り、底曳き、定置網

(魚体の大きさは外套長で表示)

1. 常磐～三陸海域(いか釣り、底曳き、定置網)

(1) 来遊量：2000年並みか、やや下回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通じてスルメイカの漁場となる。

(3) 魚体：8月は22～24cmが主体。

2. 大畑～道南海域(いか釣り、定置網)

(1) 来遊量：2000年を上回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通じてスルメイカの漁場となる。

(3) 魚体：津軽海峡周辺海域の8月は24～25cmが主体。

道南～日高周辺海域の8月は21～22cmが主体。

3. 道東～根室海峡周辺海域(いか釣り、定置網)

(1) 来遊量：2000年を下回る。

(2) 漁期・漁場：道東海域の漁場形成は前年より遅れる。

根室海峡周辺海域は10月以降、本格化する。

(3) 魚体：8月は21～22cmが主体。

今期の道南は好漁が期待され、魚体は前年並みです。道東は、沿岸の水温が低く来遊が遅れるため、今期はあまり期待できなさそうです。道東の魚体は前年並みです。

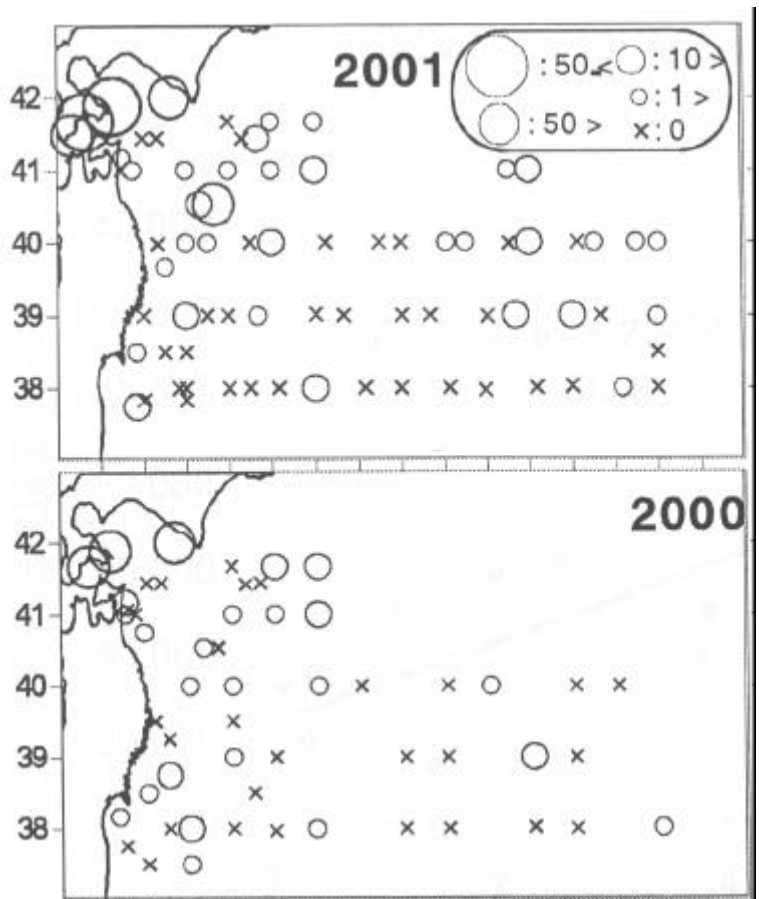


図1 漁場一斉調査におけるスルメイカの分布状況
単位 CPUE < 釣り機 1 台 1 時間あたり漁獲尾数 >

表1 本邦太平洋でのスルメイカ漁獲量（7～9月）
（釣り・定置・底曳き・巻き網、生鮮、トン）

年	常磐・三陸	大畑・道南	道東・羅臼	合計
1990	6,615	3,606	2,963	13,184
1991	7,957	8,201	16,631	32,788
1992	20,536	20,932	9,858	51,325
1993	16,241	20,196	2,612	39,049
1994	24,646	20,348	5,064	50,058
1995	34,334	14,941	3,463	52,738
1996	73,062	30,662	11,441	115,165
1997	28,831	29,081	4,031	61,942
1998	9,750	6,846	2,723	19,319
1999	23,730	10,912	963	35,604
2000	38,818	12,865	7,125	58,808

図・表は、平成13年度第1回太平洋イカ長期漁海況予報会議資料（独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所）より。

（文責：釧路水産試験場 資源管理部 直通電話 0154-23-6222）